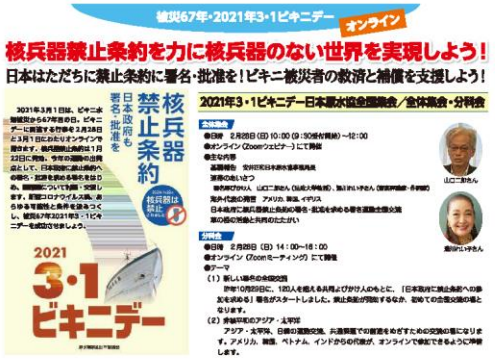
県連ニュース

発　行　熊本県民医連
発行日2021年2月8日
発行番号　2020-25
発行者　藤田 信一

「コロナ禍の看護学生と養成校に対する緊急支援を求める要請」「令和3年の看護師・保健師・助産師　国家試験追試試験に関する要請」を熊本県に提出しました

2021年2月5日　熊本県に対し山本伸裕県議とともに「コロナ禍の看護学生と養成校に対する緊急支援を求める要請」「令和3年の看護師・保健師・助産師　国家試験追試試験に関する要請」を提出しました。川上副会長より全日本民医連が看護学生を対象に行ったアンケート調査の結果から学生はもとより親の収入も減り、経済的な理由で退学をせざるを得ない学生やアルバイトで学費や生活費を稼ぐため一日8時間以上働いている学生、一方でアルバイトができず収入がゼロになった学生などコロナ禍における看護学生の実態を説明。
県としては独自の「生活困窮学生等のための給付金交付事業」を実施した。(実績につい後日報告いただくこととなる)看護学生については、養成校の教務主任との懇談を定期的に行い、学内演習のためのシミュレーション教材を無料で貸し出すなど対応しているとのこと。コロナ禍においても、看護師になりたいという夢を持ち続け、必死に頑張っている学生一人ひとりに寄り添い、看護学生自らが「医療現場のためにもこの状況を変えたい」と声をあげ追試を呼びかけるなど、その声に応えるべく、更なる熊本県独自の看護学生への支援と、国家試験追試を求める声を国に強く求めてほしいと要請してきました。

県連事務局　　宮本　詩子

2021年3.1ビキニデー(オンライン)開催

日程:2月28日(日)～3月1日(月)